

# COF事業が本格化

## 近ツー等と協力し販売

個人や企業が排出したCO<sub>2</sub>を埋め合わせるカーボンオフセット(COF)事業を今年から始めたリサイクルワン(東京都渋谷区、03・3464・3566)の展開が本格化してきた。近畿日本ツーリストやイズミヤ、その他各地市場の食材通販事業や、ラーメン店のなんでんかんなどなど協力し、COF付きの商品などを販売開始。同分野の世界的大手である英国のカーボンニュートラル社との提携が奏功した形となる。三年後に一〇億円の売り上げを目指す。

近畿日本ツーリストと性的問題を重視して、国は先月業務提携した。今連が認定する排出権クレジットを使う。具体的には、学校に対して旅行計画を提示する際に、旅行期間中のオフ

加を目指す。より深い学習を希望する学校には、旅行前後に教材の提供や講師の派遣も提案できる体制を整える。更に将来的には、同社が扱うすべての団体旅行でオフセットとしてオフセットを提供する方針としている。

寄付された五円相当のエコポイントの合計分に、イズミヤによる同額の寄付金を加え、CO<sub>2</sub>削減プロジェクトに資金提供する。一口の応募で約一kgのCO<sub>2</sub>削減が可能になる。またCOF商品の開発と販売にも今後、力を入れる。

築地市場に新設された食材の通販事業「築地の若旦那」は、ITコンサルティングのリアル・パズと共同でCOFを実施する。同事業の売り上げの一部を排出権の購入に充て、排出権の調達や償却などの業務をリサイクルワンが担当する。更になんでんかんでも、リアル・パズとともに先月、新しい通販商品として「カーボンオフセットラーメン」を発売した。スープに特徴があるというセールスポイントにちなみ、スープを作る際のガス消費や、実際にラーメンを作る際に使う電気やガスの消費量に基づきCO<sub>2</sub>排出量を計算。オフセットの対象としている。

イズミヤが実施するCOF企画に際しては、排出権を調達し、政府に無償譲渡する。応募者から